

2023.05.22 シニアクラブ Online 会合報告

前回に続き、江戸時代の天下大變を眺める予定にしていたが、今回は参加者が少なく、サブタイトルの変体仮名を読み解くことから始まりました。



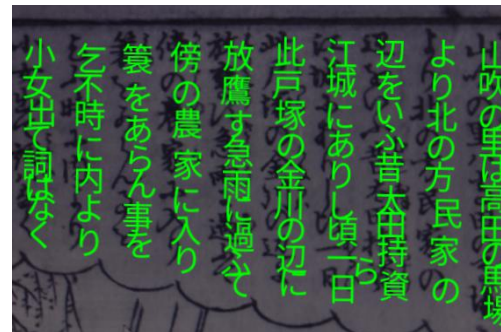
タイトル画面で背景に用いたのは「江戸名所図会」高田馬場の1枚です。太田持資（道灌）が鷹狩りに出かけた際、雨に会い近くの家で蓑を借りようとしたところ、その家の娘が無言のまま山吹の花一枝を差し出して“みの一つ無い”ことを示した、という場面が描かれているものです。この絵に書かれている文字の部分は下図の通りです。



11世紀後半（平安時代）にまとめられた後拾遺集に載った兼明親王（醍醐天皇の第16皇子）の句を引用し答えたこの娘の賢さを称え世に伝える美談と結ばれています。太田道灌はこの時、娘がとった行動の意味を理解できず立腹のままその場を去ったとのことですが、後に近臣から教えられて己を恥じたという話は有名です。

まずはここに書かれた文章を西郷さんに読んでもらうことにしました。当然ですが、読める文字もあり、読めない文字もあり、参加者全員で文字探しをしながらの読み解き会となりました。

読み解きの頼りとするのが2つ、一つはネットで調べた「変体仮名手本」 <https://www.benricho.org/kana/reference-hentaiganadehon/>



もう一つがAIくずし字認識アプリ「みを」の活用です。スマホで左下の原文の部分を撮影して変換すると左のように現在の文字になります。変換間違ったの文字がいくつかありますが、読み解きの助けとなります。

ただし、これに頼っていたのでは崩し字そのものを覚えられないので、元の文章を何度も読み返すことが大切です。

このような比較的平易な資料を見つけてこれからも解読にトライしていきたいと思います。参加者が多ければ多いほど、難読文字の解読は容易になるものと期待しています。

会員からの古い家系図発見の連絡が、変体くずし字読み解き挑戦のエンジンとなりました。ぜひそれを読み解いて次の機会にでも紹介してください。次回は多くの参加を期待しています。



2023.05.23 JVCKW シニアクラブ事務局長 田代 周